

火災その他災害による被害が少なくなる	延焼率（焼損棟数／建物火災件数） 救出活動時間（火災・交通事故） 応急手当普及率 出火率（火災件数／人口×10,000）		基本的な業務である火災の消火、救急、救助及び火災予防を効率的に実施しあらゆる被害を軽減します。	消防通信指令システム更新事業	災害受付時間を短縮するため、基本設計及び実施設計を実施し、システムの更新を行います。	消防本部
	平成14年値	36%（H10～H14平均） 14分 5.9% 4.6		消防支援（予防）システム更新事業	防火対象物の管理及び火災予防査察の効率実施のためシステムの更新を行います。また、併せて業務を効率的に行うため統計システムを導入します。	
	平成15年見込み値	34%（H11～H15平均） 14分 7.1% 4.6		消防団の拠点整備事業	老朽化した三重分団車庫を改築し、車庫を国道沿いに配置し円滑な出動を確保します。	
	平成18年度目標値	34%（H11～H15平均）未満 13分（H11～H15平均）維持 8.7% 4.3（H11～H15平均）未満		消防車両の更新事業	大型高所放水車（南）、水槽付消防ポンプ自動車（南）、分団普通消防車（海蔵、羽津、下野、四郷、予備消防車）等を更新します。	